

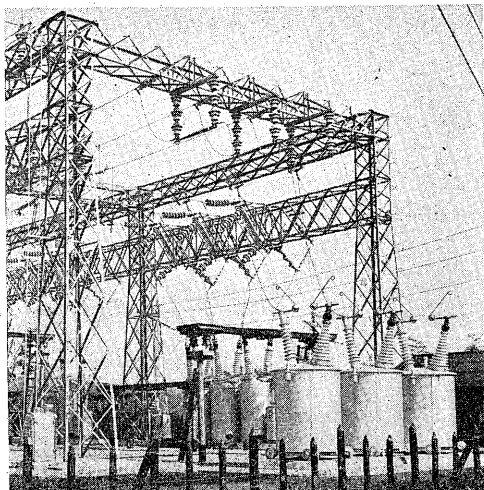


115KV 油冷抵抗型避雷器

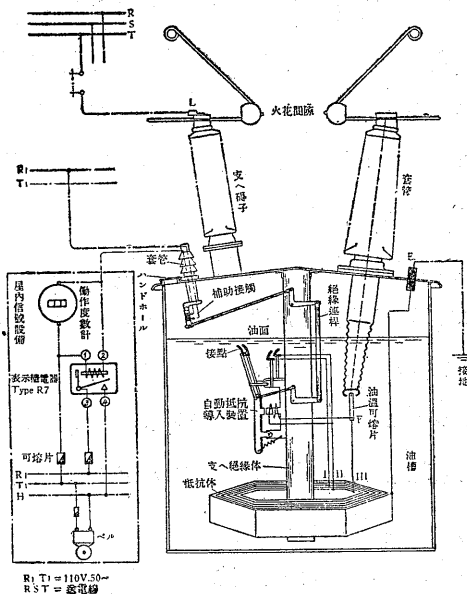
115KV Oil immersed Resistance Type Arrester

抵抗型避雷器は辨型避雷器に比較し續流の通る時間の長い事で非常に異つて居るものであります。續流の制限と雷の放電能力の擴大とは一般に互に相容れぬ兩要求であります。がシーメンス社に於て考案せられた自動抵抗導入装置によつて此の兩要求の矛盾は甚だしく緩和せられる様になりました。従つて此の發明を得て初めて抵抗型避雷器は高電壓に對して充分使用能力を發揮する事となりました。

續流の放電回路に挿入する事となり、電流を制限し遂に放電弧光を消滅せしめます。抵抗型避雷器の特徴は雷放電の際反射波少なく雷勢力の吸収を行ふ事、天候氣温の影響を受けぬ事、作動の確實な事等が挙げられますが、近來重要な送電線には消弧變壓器や消弧線輪を設けられる様になり、本型避雷器の續流制限上の問題は益々有利になりました。



九州送電株式會社中川變電所に於ける
115KV 用油冷抵抗型避雷器使用中の狀況



働作度數計及信號回路用補助接觸を有する
115KV 用油冷抵抗型避雷器の結線圖

上掲の結線圖に見られる通り本装置にては平常抵抗の大部分は自動抵抗導入装置の接觸子によつて短絡せられて居りまして雷の放電は充分低い抵抗を経て大地へ通じます。此の際其の續流勢力によつて直ちに自動抵抗導入装置は働き短絡抵抗を

すので本器を採用せられる向も増加して参りました。(詳細は富士電樹時報昭和二年四月號参照) 上掲上圖と略同型110KV用品が朝鮮水電株式會社殿松興發電所にも納入せられて居ります。

以上



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。